

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公表番号】特表2009-544429(P2009-544429A)

【公表日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-050

【出願番号】特願2009-521997(P2009-521997)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/44 (2006.01)

A 6 1 B 17/56 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/44

A 6 1 B 17/56

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1椎骨と第2椎骨の間に画定されている椎間空間に設置するための運動機能温存式人工器官装置構成要素において、少なくとも部分的には前記椎間空間に配置するように構成されている椎間部分と、少なくとも部分的には前記椎間空間の外側に配置するように構成されている後部部分と、を備えており、前記椎間部分と前記後部部分は、それぞれ別々に運動を支援しており、後部部分は、可撓性を有する運動制御機構を含んでいる、人工器官装置。

【請求項2】

前記後部部分は、前記第1及び第2椎骨の両後弓の相対運動を制御するためのばねを含んでいる、請求項1に記載の人工器官装置。

【請求項3】

前記後部部分は、前記第1及び第2椎骨の両後弓の相対運動を制御するように構成された可撓性を有する連結具を含んでいる、請求項1に記載の人工器官装置。